

皆さん、おはようございます。そして、新年明けましておめでとうございます。まずは、今日も朝練をつぶして、体育館にシートを敷くなど、会場の準備をしてくれた体育館系運動部の皆さんにお礼申し上げます。いつもありがとうございます。また片付けもよろしくお願いいたしますね。

12月22日の全校集会でお話ししてから、まだ20日も経っていませんが、その間に、2017年から2018年に年が改まりました。短い期間でしたが、皆さんは、どう過ごしましたか。そして何を思いましたか。学校の活動では、補習や講習に参加した人、TOEFLや校外模試で自分の力を試した人、部活動の練習、試合やコンサート、コンクールに臨んだ人、SSHで台湾やオーストラリアでの研修に行ってくれた人、SGHでニューヨークでの研修に行ってくれた人など、多くの活動をしてくれました。

「1年の計は、元旦にあり」といいます。正月の意義は、新しい年になった機会に気持ちを一新して、その年の決意をし、意欲を充実させることにあります。平凡な生活の繰り返しにけじめをつけることは、人間の素晴らしい英知だと思います。

ただ私の年末年始は、ホントに自堕落な生活で、ほとんど家にいて、テレビを見ておりました。私は、アニメが好きですが、「劇場版」といわれるアニメを、劇場で見たことは、ほとんどありません。たいてい、1年遅れの「地上波初放映」で、見えています。今年は、「君の名は」を初めて見ました。絵もきれいで、伏線もよく回収できていて、また聖地巡礼の場所が増えたなと思いました。そして秋アニメが終わり、冬アニメが始まりました。同じ趣味を持つ人、良ければまた、熱く語り合いましょう。

でもやはりこの季節は、高校、大学、社会人、プロと多くのスポーツが中継されていましたので、それを楽しみに見ていました。駅伝、ラグビー、サッカー、バレーボール、バスケットボール、アメリカンフットボールなど、いろいろな競技が行われていましたが、そこで私が強く感じたのは、「人と人とを繋ぐ」ことの大切さです。駅伝では、もちろん襷ですね。他の競技でも、得点に至るまで、パスを繋ぐということです。そして思ったのは、いかに繋ぐかが大切で、そして大変難しいということです。渡す方は、タイミングを図り、どのようにすれば受け取りやすいかを考え、渡される方は、周りの相手や味方の状況をよく見て、どの位置にポジショニングすればいいか、走り込めばいいか、どのように声を掛ければ、渡しやすく、なおかつ効果的かを考えなければなりません。でもそんなことは、一朝一夕にできるものではありません。強いチームほど、日々の練習やミーティングなどを積み重ねることで、単に襷やボールだけでなく、相手への思いやりなど、心もしっかり繋がっていると感じました。

千里高校の現在があるのは、皆さんの先輩が、私たちの先輩教職員が、千里高校という襷やボールをしっかりと繋ぎ、私たちに渡してくれたからに他なりません。そして、私たちも、先輩から受け継いだこの襷やボールをしっかりと後輩に繋がなければなりません。そのために、この1月から3月までの3ヶ月間をしっかりと過ごしてもらいたい。卒業する3年生は、2年生、1年生にしっかりと千里の襷やパスを渡してもらいたい。2年生、1年生は、それをしっかりと受け取り、やがて入学してくる後輩にも、千里高校の素晴らしさを伝えてほしい。そうした絶えることのない繋がりに、千里高校の未来が生まれてきます。私の年頭の決意は、今年も、これまで先輩が繋いでこられた千里高校という襷やパスを、確実に、そしてさらによりよいものにして、皆さんとともに、未来に繋げることです。そのためには、まずは、生徒の皆さんや私たち教職員が、心も体も元気で、一人ひとりが、安心してその力を十分に発揮できるよう、努めることだと思っています。特に、来年度からは、体育祭が6月に変更になりました。この3ヶ月で、しっかりと準備をして、4月から、GOOD STARTが切れるようにしましょう。

最後に3年生、いよいよ自己実現の本番の時期を迎えます。不安や悩みがあると思います。それは当たり前前のことです。受験生なら、誰もがこの時期、不安や悩みで一杯です。必要以上に気に病むことはありません。皆さんなら、最後までやり抜いてくれることと信じています。

Believe in yourself

ですよ。今日はもう、歌いませんが。

そして、この1年が、生徒の皆さん、そして我々教職員、ここにいるすべての人にとっていい年であることを期待して、私の挨拶を終わります。みんな、いい年にしましょう。